

むなかた市議会だより

令和7年 3月定例会号

1 緊急情報伝達システム事業費

5億3,699万9千円

主な事業

防災行政無線として高性能スピーカーを38基設置し、Jアラートなどの既存のシステムと連動を図ることで、市民への迅速で確実な緊急情報の伝達を目指す。



主な質疑

問 今回設置する高性能スピーカーは、災害時に電力が断絶した場合どうなるのか。

答 電力が断絶してから72時間は継続して使用可能である。

2 学校部活動の地域クラブ活動への移行

- ・市民文化芸術活動推進事業費
- ・市民スポーツ活動推進事業費

9,180万円

主な事業

中学校文化部活動及び中学校運動部活動の段階的な地域移行を推進するため、さまざまな支援を行う。



主な質疑

問 吹奏楽部の地域移行を進めるため、具体的にどのような支援を行うのか。

答 地域移行期間中のコンクール出場の支援や九州管楽合奏団による指導などの支援を行う。

3 デマンド交通事業費

3,312万6千円

主な事業

宗像版公共ライドシェア(※1)の導入について検討を行うため、実証運行を実施する。

主な質疑

問 実証運行はどの地域で行うのか。

答 令和7年度は岬地区から開始し、河東地区、自由ヶ丘地区、南郷地区の計4カ所での実施を予定している。



4 離島振興事業費

2,456万8千円

主な事業

島の交流や関係人口の増加につながるイベント開催や情報発信を行う。また、大島地区では乗り合いバスの運行を支援する。

主な質疑

問 これまでの乗り合いバスの運行状況や利用者数、今後の方針は。

答 現在、平日は13人乗りのワゴン車、土日は16人乗りのマイクロバスで運行しており、令和6年度の利用者数は約1万4,000人を見込んでいる。令和7年度も現状と同様に運行する予定だが、令和8年度以降の体制については関係機関と協議を進めている。



5 学校給食管理運営費

5億6,521万8千円

主な事業

学校給食での地場産物の利活用を拡充する。また、学校給食費の改定後も物価高騰分の補助を引き続き実施する。

主な質疑

問 物価が高騰している中で、今後も引き続き給食費の補助と地場産物の活用を並行して行っていくのか。

答 現時点では、引き続き並行して事業を進める考えで、地場産物の活用については、使う食材を適宜判断しながら積極的に取り組みたい。



基金の運用について

予算第1特別委員会では、市の基金運用について多くの質疑を行いました。

基金運用の現状

本市では、経営企画部長、経営企画課長、財政課長、会計管理者で構成する債券運用委員会で方針を協議した上で、基金額の約6割を国債などの購入、運用に充てている。

現在、保有する全ての国債などが元本割れし、令和6年12月末現在で購入額152億円に対し、約45億円の含み損が発生している状態である。

主な質疑

問 市が定める債券運用基準には、債券を償還日前に売却する場合は、投資元本を上回る価格で売却しなければならないとあるが、個別の債券で見ると売却価格を下回る価格で売却しているものがある。問題はないのか。

答 個別の債券でなく、一度に売却する債券全体の価格が投資元本を上回る価格で売却するように運用しており、この取引に関しても全体で売却益が出るようにしている。この取り扱いについては、顧問弁護士にも相談し、問題ないという回答を得ている。

問 国債を買って運用することはリスクも抱えていると思うが、自治体の会計として問題はないのか。

答 金額が上がったり下がったりすることはあるが、国債は満期を迎えると額面全額が戻ってくる。原則として満期保有を前提にしているので、原資を失うリスクはないと考えている。

◆基金とは

特定の目的のために積み立てて運用する資金のことで、自治体が条例に基づいて設置する。宗像市では、災害に備えるための宗像市安全安心まちづくり基金、学校などの公共施設や情報システムを維持、更新するための宗像市公共施設等維持更新基金などがあり、令和6年12月末時点で総額約250億円を積み立てている。

主な議案

市職員への各手当を拡充

賛成多数で可決
第17号議案

宗像市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

▼国による地域手当の支給地域の見直しにより、無支給地域から4%支給地域となった。

これを受けて、市では職員の処遇改善および人材確保の一環として、4%を上乗せした計8%を支給する。

▼法改正に伴い、配偶者に係る扶養手当を段階的に廃止する一方で、子に係る扶養手当の引き上げや、通勤手当の支給限度額の引き上げなどを行う。

主な議案

賛成多数で可決
第31号議案

宗像市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

▼令和8年度から全国で義務化される乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について、令和7年度からモデル事業を開始する。

▼本事業は、0歳6カ月から2歳までの未就



主な意見

＜賛成者の意見＞

▼運用に当たっては、安全で子どもが健やかに育つ支援事業になるよう努力してほしい。

＜反対者の意見＞

慣れない子どもが日替わりで来る中で、保育士が個別対応に手をと安視している。

賛成多数で可決
第34号議案

宗像市景観条例の一部を改正する条例について

▼新たな景観計画を策定するため、条例を改正する。

▼景観重点地域において、視点場からの眺望に影響を与えない区域で、片流れ屋根や差し



主な意見

＜賛成者の意見＞

▼世界遺産の保全につながるため、配慮しながら検討してほしい。

▼景観を守り続ける地元住民の意見も取り入れて進めてほしい。

賛成全員で可決
第46号議案

令和7年度宗像市国民健康保険特別会計予算について

▼宗像市国民健康保険基金を取り崩し、令和7年度の国民健康保険税額を据え置く。

▼特定健診では、新たに成果連動型民間委託契約方式（※2）を取り入れ、民間事業者の創意工夫による案内通知やAI分析を活用した勧奨通知などにより受診率の向上を目指す。

▼大島診療所の医師が

主な意見

＜賛成者の意見＞

▼基金を活用して国民

健康保険税額を据え置くことを評価する。

▼特定健診の受診率の向上に向けてさまざまな努力をしていることを評価する。

賛成多数で可決
第51号議案

令和7年度宗像市下水道事業会計予算について

▼市内全域の処理場などを包括的に管理するため、令和7年度から令和12年度までの6年間で、11億7960万円の債務負担行為を設定する。

▼これまで職員が行っていた宗像終末処理場などの維持管理業務について、管理に必要な機械、電気、水質の技術職員の採用がないことから、各技術者の補完を目的に、処理場などの維持管理業務やマネジメント業務を委託する。

＜反対者の意見＞

▼公共インフラとして必要不可欠なサービスであり、利益を追求する民間企業に委託することは、質の低下につながるのではないかと危惧する。

委員会では、次のとおり附帯決議が提出され、賛成多数で可決しました。

【附帯決議】

公共施設の適正管理、技術職員の採用、人材育成の方針が明確であり、本市の技術職の継承が担保されないことが予測されるため、今後は機械、電気、水質技術者の採用に努めるとともに、契約期間の見直しなども含め下水道処理施設の適正な管理方法を示すよう求める。

主な意見

＜賛成者の意見＞

▼今後も市民サービスが低下しないよう、事業者と連携し、しっかりと管理してほしい。

▼技術職員の確保策に

令和7年 第1回 宗像市議会定例会 賛否が分かれた議案と主な議案

3月定例会で審議した議案のうち、主な議案を紹介します。全ての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

● 賛否が分かれた議案名と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）

議案番号	議 案 名	議員氏名 議決結果	齋藤 元孝	花田 哲司	木村 武士	田中 るみ子	神田 亜希子	三島 隆由	川内 亮	石松 修	木藤 裕司	岩岡 良	上野 崇之	井浦 潤也	小林 栄二	吉田 剛	森田 卓也	安部 芳英	北崎 正則	伊達 正信	新留 久味子
第17号議案	宗像市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第31号議案	宗像市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆
第45号議案	令和7年度宗像市一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆
第47号議案	令和7年度宗像市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆
第51号議案	令和7年度宗像市下水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	◆	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆

※岡本陽子議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

● 全員賛成で可決した主な議案と内容

議案番号	議 案 名	内 容
第23号議案	宗像市公共施設等維持更新基金条例の一部を改正する条例について	情報システムの維持及び更新に要する資金を積み立て、年度間の費用負担の平準化を図るため、条例の一部を改正するもの
第27号議案	宗像市立学校の施設の開放に関する条例の一部を改正する条例について	使用料の納付時期を変更するため、条例の一部を改正するもの
第32号議案	市道路線の認定について	ひかりヶ丘1－10号線ほか全8路線について市道路線を認定するに当たり、議会の議決を求めるもの

（※2）…社会課題の解決に対応した成果指標を設定し、成果指標値の改善状況に連動して委託費などを民間事業者に支払う方式。
（※3）…議案を議決する際に付け加える要望のこと。法的拘束力はなく、政治的に尊重されるべきものとされている。

会派の主張

市議会では、同じ考え方を持つ議員が集まってグループをつくります。このグループを会派といいます。宗像市議会には、令和7年4月1日現在で、9つの会派があります。それぞれの会派の活動方針などを紹介します。

宗像志政クラブ

むなかたしせい

代表／小林 栄二

多様なバックグラウンドを持つ議員が集結



(後列左から) 安部芳英議員、伊達正信議員、木藤裕司議員、石松修議員
(前列左から) 井浦潤也議員、小林栄二議員、森田卓也副議長

私たちの会派は、飲食店、保険、自営業、元公務員などの経験を持つ議員で構成し、日々の経済活動を通じて培われた多様な視点を宗像のまちづくりに生かすため、一致団結して活動しています。

各議員は、自治会・コミュニティ活動、保護者会、青少年育成、文化・スポーツ指導、交通安全見守り、まちづくりイベントなど、それぞれの地域で積極的に活動し、地域に深く関わることで、市民の声に耳を傾け、その思いをしっかりと受け止め、地域の課題解決に向けて取り組んでいます。

これまでに、保育士の処遇改善や小中学校体育館への空調設備設置工事に関して、国会議員との連携を通じて財源確保の要望活動を行いました。また、農業・漁業・商工業の関係者との意見交換会を開催し、県議との連携を通じて改善提案や要望活動につなげました。

さらに、介護・福祉・障がい者施設で働く人々の処遇改善、市内事業者の人材確保、市民の就業機会創出など喫緊の課題にも関係団体からヒアリングを行い、市長に対して要望活動を行いました。

私たちの行動が実を結び前進した取り組みも着実に増加しており、確かな手応えを感じています。令和7年度も、国・県との強固な連携と幅広い人脈を最大限に活用し、前向きな政策提案を行います。より良い宗像の未来を創造するため、私たちは全力を尽くします。

未来むなかた

みらい

代表／北崎 正則

持続可能なまちの未来への道筋を



私たち「未来むなかた」は、1期目の三島隆由、3期目の上野崇之、4期目の北崎正則によって構成する3人会派です。

働く皆さんや子育て・教育への支援、日の里や自由ヶ丘などを中心としたまちづくり、地域の活性化などの市政全般に関わる課題をそれぞれの観点で指摘・改善することを会派の基本的方針として、日々取り組んでいます。

また、今回の選挙で多くの方々から公共交通について、

未来への道筋を

不安視する声をいただいたことから、今までの活動の柱に、公共交通に関することを加え、①地域の暮らし、産業の創出②多世代で住み続けられ、ともに学び、支え合って生きる社会の構築③市民の移動手段を確保するための公共交通の推進

この3つを掲げ、常に市民の声に耳を傾け、市民目線を大切にしながら、議会で活動をしていきます。

日本共産党

にほんきょうさんとう

代表／新留 久味子



(左から) 新留久味子議員、神田亜希子議員、川内亮議員

命と暮らしを支える市政へ

日本共産党市議団は、昨年の市議会議員選挙で、市民の負託を受け2議席から3議席となりました。

物価高騰が続く中、市民の暮らしは厳しさを増しています。今こそ、市民生活をどう支援していくのか、行政の役割が問われています。

しかし、この間の伊豆市政は、子育て世代の要求の一つである「学校給食費無償化」には背を向け、4千人を超える市民から要望のあった「タクシー助成制度の実現」には、利用者の需要調査を行っ

たものの制度の継続に踏み切っていない。

こうした要望は、市民による請願や市長への要望署名など市民の運動によって出されたものです。この市民の願いにどう応えていくのか問われています。

日本共産党市議団3人は、今こそ、市民の声を生かし、暮らしを応援する市政へ！今後税金の使い道を厳しくチェックするとともに命・暮らしを守るために全力で奮闘していく決意です。

こうめいとう

公明党

代表／岡本 陽子

「市民目線・生活者視点」の政策実現を

「大衆とともに」の立党精神が示されてから60年。私たち公明党議員は、市民の一人、生活者の一人でもあります。「市民目線」「生活者の視点」を信条に地域や市民の小さな声を聴き、何を優先すべきか考え抜いて共に寄り添い課題解決に向けて活動しています。

宗像市政では、市立学校普通教室や体育館への空調設備設置、带状疱疹予防接種費用の助成、高校生までの医療費助成

の拡充、医療費適正化の推進、ふれあい収集の推進、学校プール老朽化による水泳授業の民間委託、サンリブくりえいと宗像における期日前投票所の開設など数多くの政策提案が実現しています。

これからも安定した市政運営に努め、議会に対して、夢や希望を託してください。市民に「何としても応えていかなければならない」その思いをさらに強くし、市民のための政策を実現してまいります。



(左から) 木村武士議員、岡本陽子議長

にっぽんいしんかい

日本維新の会

代表／岩岡 良

古い政治を壊し、新しい政治を創る

日本維新の会は、「これまでの政治の延長線上に解決策はない」という理念の下で、「改革」によって政治を前に進めます。



民の生活を守れない現行の地方自治制度を根本から見直し、権限と財源の地方移転を求めます。

眼下に広がる課題を同質・同様のものとして次世代に引き継がせることがないよう、逃げることなく課題の本質に焦点を当てた議論を展開します。

しゅみんせいじ

ふくおか市民政治ネットワーク

代表／田中 るみ子

誰も孤立せずに、生きやすいまちに

ふくおか市民政治ネットワークは、この35年間、市議会に女性議員を送り出し続け、暮らしの課題を市民と共に解決するために活動してきました。



子育て、介護などで孤立せず、一人で抱え込まないように、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを行っています。

私たちの体は食べた物からできています。食の安心安全と環境を守る施策を推進します。

何よりも「いのち」と「暮らし」を守ることを最優先に考え、未来に希望が持てる社会を目指していきます。

これからも市民目線で活動し、暮らしの声を市政に届けていきます。

ほうそうかい

豊創会

代表／吉田 剛

宗像の豊かさを明日の創造へ

豊かな宗像を創造するという思いを込めて「豊創会」を立ち上げました。

宗像は歴史や自然・文化に恵まれた風土と育まれた人が生きる豊かなまちです。この豊かさは新しい時代の価値観に響き合いますが、その反面、



何となくいまちという、ぼんやりした印象があります。豊かさを解像度をあげ、新しい時代の豊かにパージョンアップする必要があります。

一人の議員として、市民の皆さんと一緒に現場で活動することで豊かさを共感し、政策で形にしています。

宗像で生まれ育ち、外に出て見聞を広げた後に、宗像で子どもを育てたいと選ばれるまちを目指します。

せいせいきやうど

清政郷土むなかた

代表／花田 哲司

全ての市民のための地域づくりを

令和6年10月27日に執行された宗像市議会議員選挙で初当選し、私が生まれ育った郷土、宗像市のために初心を忘れることなく清らかな政治をと



宗像市は12地区のコミュニティ、141の自治会があり、地域課題はさまざまです。地域のため、市民一人一人のための市政に取り組みます。

現代社会が抱える課題は多岐にわたります。それぞれの分野の課題解決に向け、市民の意見にしっかりと耳を傾けていきます。市民の皆さまが政治に関心を持っていただけ

えがお

笑顔、むなかた

代表／齋藤 元孝

開かれた議会へ！市民と政治の架け橋を笑顔で

政治って難しく感じていませんか？

皆さんが自宅から会社、学校、買い物に行く時に、宗像市の政治の影響なしにたどり着くのは不可能です。また、老若男女「税金」を払わずに生活している人もいません。



それくらいに大切な政治の敷居を下げ、もっと分かりやすく、もっと楽しく、市民と政治の距離を近づけることを使命に活動しているのが会派・笑顔、むなかたです。

「圧倒的な若さ」「宗像市議会では数少ない無所属無党派派故のしがらみのなさ」「SNS発信に力を入れていること」の3つの強みを生かして笑顔で頑張ります！

(※4) ……レスパイトとは小休止、中休み、中断などを意味する言葉であり介護や育児など、普段誰かのケアを行なっている人が休息できるよう支援する事業のこと。
(※5) ……自宅から駅やバス停までの「ラストワンマイル」の移動手段の確保を目的にアンケート付きのタクシー利用券を配布し、高齢者の公共交通に対するニーズなどを把握した調査。

宗像志政クラブ



代表質問者
小林 栄二

施政方針について



問 これまで行ってきた人材確保と育成、定着についてどのよう
に評価、総括しているか。

答 令和6年度は特に人手不足
が深刻である保育、介護分野を
中心に取り組みを進め、これま
でに、新たな人材の獲得や労務
環境改善につながるなど一定の
成果が上がっている。引き続き
人への投資を進め、働きやすく、
暮らしやすいまちづくりに努め
ていきたい。

問 地域公共交通ネットワーク
の再編に取り組むとあるが、具
体的な内容は。

答 引き続き自動運転バスの実
証運行を行うとともに、公共フ
ィードシエアの実証運行を新たに
開始し、既存の地域公共交通と
連携接続することで、交通不便
地域や高齢者の移動手段の確保
を図る。

問 今後、調整池の整備を行う
とあるが、内容、予算規模、今
後のスケジュールは。

答 雨に強いまちづくりビジョ
ンに基づき、各エリアの地形や
周辺状況などの特性を踏まえ、
調整池などの浸水対策施設につ
いて、約20年間で約140億円
をかけ、段階的に整備していく。
田熊エリアは令和13年、田久、
栄町、くろえいとエリアは令和
20年、須恵、稲元、城西ヶ丘エ
リアは令和25年を整備目標と
し、令和7年度は田久エリアで、
河川からの逆流防止のためのフ
ラップゲート工事に着手する。
問 定住施策について、これま

未来むなかた



代表質問者
北崎 正則

持続可能な まちの未来への 道筋を



問 全国的に出生率低下や人口減少が
進む中、本市における現状と課題をど
う認識しているのか。

答 子育て世代の転入により、児童生
徒数は横ばいで推移している。20代前
半の人口流出が大きく、この世代の流
出抑制が課題だと認識している。
問 「ずっと住みたいまち宗像」を見
据えるとは、総じてどのようなもので、

どのような基準に即した将来像を想定
しているか。

答 本市の10年後の姿であり、各年代
が安心してずっと住みたいと思えるま
ちづくりを進める。就労支援にも重点
を置き、人材確保と定着を進める。

問 持続可能な行財政運営の推進で
は、職員の適正配置や業務効率化に取
り組むとあるが、自己都合退職者が増
加していることはどう考えるのか。

答 多様化する職員ニーズを把握し、
より良い職場環境の構築に努める。

問 学校給食費無償化は、子育て世代
に選ばれるまちとして、大きな手だて
になるのではないか。



日本共産党



代表質問者
新留 久味子

市民の声が 生かされる 市政運営を



問 放課後等デイサービスにおいて保
護者を支えるレスパイト事業(※4)
を実施できないか。

答 保護者の休息につながる日中一時
支援事業が利用できる事業所は市内に
1カ所しかなく、今後、障害者自立支
援協議会子ども部会において、放課後
等デイサービス事業所に実施してもら
えるよう働きかける。

問 国の制度化を待たず、学校給食費
無償化を段階的にでも実施できないか。

答 現時点では無償化を考えておらず、
国の動向を注視していく。
問 むなかた子ども大学の一環として
取り組まれる、教育委員会主催の航空
自衛隊築城基地での体験学習は、どの
ような協議を経て決裁されたのか。

答 実施要領ができた段階で、事業を
担当する地域教育連携室長の決裁を経
て実施を決定した。

問 ラストワンマイル交通需要調査
(※5)の総括は。

答 需要が低く、ラストワンマイルを
後押しするという目的は失敗したと考
える。

問 JR赤間駅の自由通路改修と併せ
て、待合室を整備できないか。

答 JR九州とともに協議検討してい
く。

公明党



代表質問者
木村 武士

市民真ん中の 政治実現を



問 市長が2期目に市民に果たした責務
として評価できる点は。

答 市内小中学校の体育館への空調整備
やホールの開所、むなかた子ども大学の
開催など考える。

問 災害時に移動式排水ポンプやトイレ
カーを活用するには、平時からの準備
が大切だが、方策は。

答 排水ポンプは宗像管工事協同組合と
の稼働訓練、トイレカーは市開催のイベ
ントなどでの活用や観覧を考えている。

問 学校給食費無償化を部分的に実施で
きないか。

答 良質な給食の提供に努めているほか、
低所得世帯には給食費支援を実施してい
るため、現時点では考えていない。

問 宗像ユリックスに防災公園を設置で
きないか。

答 宗像ユリックスを含め、指定緊急避
難場所となっている屋外公園の活用を総
合的に検討する。

問 過去に行った公共交通施策をどう生
かすのか。

答 支線交通の見直しなどを進め、利便
性の高い交通体系を目指す。

問 教育施設
の統廃合は避
けて通れない
と考えるが、
市長の見解は。

答 学校のみ
ならず、あら
ゆる施設間で
施設の適正化
が必要である。



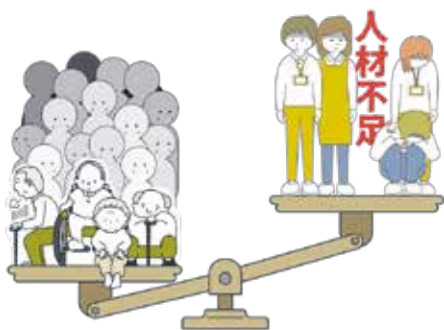
空調が整備された体育館

代表質問

代表質問とは、市政の基本方針である施政方針に対して、2人以上で構成する
会派の代表質問者がその見解を問うものです。

令和7年2月27日に4つの会派が令和7年度施政方針に対して
質問を行いました。

◆令和7年度施政方針は5月号のむなかたタウンプレスや市ホームページに掲載しています。



一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和7年2月28日から3月4日までの3日間にわたって、
14人の議員が合計28項目の質問を行いました。

- ◆質問を届けた順に掲載しています。
- ◆掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- ◆質問内容の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは6月上旬に公開予定の議事録をご覧ください。



経済政策について
宗像志政クラブ／安部 芳英



問 産業振興計画の取り組みとして、マーケティングリサーチの実績は。

答 景況調査のほか、観光経済効果調査などを行っている。景況調査では、経済動向および経営課題の洗い出しを行い、観光経済効果調査では、来訪者の消費行動や周遊性などを収集し、ニーズや課題の把握に努めている。

問 分析を行うに当たっての課題は。

答 分析は、聞き取りによるものがほとんどであるため、客観的データに基づく裏づけが必要である。地域全体

の経済活動の把握については、統計データの即時利用が課題である。問 県や国へデータ収集の働きかけや、データ分析について職員育成を検討してほしいかどうか。



答 県や国に働きかけたい。また、計画策定の機会に併せて分析力の向上を図りたい。



余裕のある基金を市民に還元を
日本共産党／川内 亮



問 2025年度以降の10年間で最も財政需要が増大すると考えるが、市の見解は。

答 人件費や物価の高騰により、今後も必要な経費は増大すると認識している。

問 本市は繰上償還により、全国的にも低い将来世代負担比率であるが、今後の見通しは。

答 今後の経常収支比率次第であり、決算剰余金の額がどの程度で推移するかが鍵である。

問 道路や施設の維持更新基金は十分に積み立てられているか。



答 公共施設等維持更新基金を活用し、今後20年間は十分に対応できると見込んでいる。問 基金などが十分にある中で、人への投資として、福祉政策の充実と注力すべきでは。

答 現状の市民に対する支援のための財源確保が必要だと考える。



防犯対策・地域安全対策について
清政郷土むなかた／花田 哲司



問 これまでの防犯事業の成果と課題は。

答 地区コミュニティと月1回の防犯パトロール、自治会やコミュニティが設置する防犯カメラの設置補助、人や車の行き来が多いポイント箇所への防犯力メラ設置など防犯対策を行っている。課題は、防犯啓発活動を担う地域の人材確保がある。

問 地域防犯活動人材育成の今後の展望は。

答 地域防犯活動人材の育成では令和6年度新規事業として、ランニングをしながら防犯の見守りを行うパトロールランニングによる



パトロールランニングで活動する人たち

人材育成を行った。課題を整理し、令和7年度以降も取り組んでいく。問 開発行為など状況が変わった地域への防犯灯設置を検討できないか。

答 地域の意向を確認し、検討していきたい。(そのほかの質問) ・地域や駅周辺のにぎわいづくりについて



外国につながる子ども支援の充実
らくおか市民政治ネットワーク／田中 るみ子



市内の小中学校に通う外国人の児童生徒が増えている。問 日本語が分からない児童生徒を受け入れるための取り組みは。

答 多文化理解についての講義や日本語指導教員の配置、音声翻訳機の貸し出し、ボランティアの派遣、母語と日本語で作成したシートの配布を行っている。

問 日本語指導の方法と内容は。

答 専任の日本語指導教員が週に2こまの授業を行っている。

問 多文化共生のための今後の取り組みは。



答 実情把握を進め、先行自治体の事例などの調査研究を行う。市民の意見を市政に生かすために



本市の財政運営について
宗像志政クラブ／伊達 正信



問 長期国債を満期保有した場合、経常収支比率の上昇などもあり、減債基金や公共施設等維持更新基金の積み立てに影響は出ないのか。

答 災害に対しては基金を創設しており、アセットマネジメントについても計画的に取り組み。また、基金残高のうち100億円は流動性の高い定期預金などで保有しており、現状の基金保有額で十分だと認識している。

地場産業の活性化について

問 糸島市では、地場産業に特化した「糸島



市中小企業基本計画」を策定し、市経済の健全な発展や市民生活の向上を図ろうとしている。本市でも、その前段となる「中小企業基本条例」をまずは制定できないか。

答 商工会事務局と今まで以上に連携、議論の機会を設け、条例制定も含めて検討したい。



訪問介護事業者支援について
日本維新の会／岩岡 良



問 訪問介護事業者の駐車場確保の問題は、特にUR日の里団地内で顕著である。URとの協議や市の対策は。

答 URが団地の中央付近に駐車場を整備予定だが、敷地内に整備できればさらに事業者の利便性が向上するため、日の里地域医療福祉拠点意見交換会でURに要望したい。

コミュニティ施策の価値向上に向けて

問 開始から27年を迎えたコミュニティ施策は、人口減少・少子高齢化に伴い、制度疲労を起こしつつある。



住民に本来必要とされるものにするために、まちづくり交付金の使途を含めた抜本的な見直しと議論が必要では。

答 令和7年度は、コミュニティ最適化支援や原点回帰プロジェクト、まちづくり交付金の総合的な見直しに着手し、住民にとって望まれる姿にしていく。



新時代の地域公共交通施策
宗像志政クラブ／森田 卓也



問 最適な地域公共交通ネットワーク再編の必要性について、市の考えは。

答 人口変動や都市計画、市民ニーズに応じた地域公共交通を再構築し、通勤や通学、通院買い物の利便性を向上させることで、地域住民の暮らしの質や地域の魅力が向上し、まち全体の活力を高めることができる。

問 自動運転バス実証実験の成果は。

答 自動運転技術は、自家用車に頼らず生活できるまちの実現に寄与する。乗車する機会を設けられたことは、一



自由ヶ丘で実証実験した自動運転バス

つの成果である。問 公共ライドシェア事業に取り組むこととなった流れは。

答 「のーと」と「フストワンマイル交通需要調査」の成果を踏まえ、時間にとらわれず自宅から移動できるニーズを満たす手段として、最適であると判断し、導入に至った。



児童に寄り添った子育て
日本共産党／神田 亜希子



問 障がい児を受け入れるに当たって市の基本的な考えは。

答 子ども基本条例を遵守し、子どもたちが共に成長できるよう、適切な環境整備を行い、可能な限り障がい児を受け入れている。

問 指導員などの障がいへの理解が足りないことで、学童をやめざるを得ない子どもがいるが、行政の責任は。

答 保護者会などで配慮が必要な子どもへの理解を求めるよう指定管理者にも働きかける。

問 障がい児を受け入れるには、指導員が多岐にわたる障がいにつ



いて研修で学ぶと同時に、特別支援学級の担任や学校との連携が欠かせないと思うが、どう考えているか。

答 特別支援学級の担任との連携は大変重要であると考えている。ほかの子どもたちの担任ともきちんと話をし、連携を図って支援に努める。



ずっと住みたいまちのデザインは
豊創会／吉田 剛



問 全国住み続けたい街ランキング1位に選ばれた要因をどう分析しているか。

答 実際の宗像の暮らしの満足度が高評価を得たと考える。

問 子育て世代をターゲットに移住を促進すべきだと考えるが、市の考えは。

答 若者、子育て世代をターゲットに各種施策を展開する。

問 防犯、子育て、教育、財政の近隣自治体に対する優位性をプロモーションしては。

答 共感思考の視点で情報を発信したい。



市道光岡1号線に設置されたポストコーン

光岡地区の渋滞解消を

問 市道光岡1号線と県道宗像篠栗線の交差点にポストコーンが設置され渋滞の原因になっているが、対応は。

答 外側のラインの一部変更や、防護柵、ガードレールの端部を短縮し対策を講じている。



就労支援で移住・定住の後押しを
未来むなかた／上野 崇之



北斗の水くみ 海浜公園周辺の管理を

問 海岸の砂が駐車場に堆積し、サーファーなどの利用者が困っている。団体などと連携し、対処できないか。

答 市で毎年冬と夏に砂を除去しているが、冬の乾燥した時期は堆積しやすい。県と情報共有を行い、団体などとの連携は研究したい。



令和7年に開設した就労サポートセンター



学校における働き方改革について
宗像志政クラブ／井浦 潤也



問 教員の業務は多様化・複雑化し、負担も増加している。特に教材研究や授業準備のために時間外勤務が発生しているが、対策は。

答 令和6年度から教員の業務支援やデジタル教材の活用、学校間の教材の共有を推進するため、教員業務指導員を配置し、ICTの活用推進と併せて負担軽減に取り組んでいる。

問 教育DXにおいて、業務用ソフトが連動していないなどの課題に対するその後の対応は。

答 国の財政支援を受け、令和7年度にネットワークの統合や業務



トヨタ生産方式で整理整頓された放送室の棚

ソフトの連動などの整備を進めたい。

問 トヨタ自動車九州と連携した赤間西小学校の業務改善の状況は。

答 教員の困り事の中から3つのテーマを取り上げ、業務改善を進めている。調査では、8割の教員が業務に対する見方や考え方に変化があったと回答した。



子ども大学築城基地見学について
未来むなかた／三島 隆由



3月25日に開催されるむなかた子ども大学特設講座は、航空自衛隊築城基地が会場となっている。自衛隊員が災害救助活動などに命懸けで従事していることは非常に尊いと思

っているが、告知のために対象児童生徒全員に配付されたチラシの中央には、戦闘機が大きく載っている。不適切ではないか。

答 武力を想起させるような誤解があったなら見直しの必要もある。

夏休み中の出校日について
8月6日、9日が



市役所に掲げられている「非核・平和都市宣言のまち」の看板



空き家対策から定住施策へ
宗像志政クラブ／石松 修



問 市の空き家対策の基本的な考え方は。

答 空き家を地域の資源として捉え、住まいの建て替えや起業の場として再生し、子育て世代や事業者を呼び込むことで、循環型のまちを形成することができると考えている。

問 自治会からの相談への対応は。

答 速やかに現地確認を実施し、所有者の特定を行った上で適正管理の要請を行っている。地域の主体的な取り組みを支援するとともに、空き家の適正管理、利活用を促進する施策を推進しながら、地域と



の情報共有に努めたい。

問 空き家除却後の固定資産税の減免制度の検討状況は。

答 令和8年4月の導入に向けて検討を進めている。例えば、除却後の跡地を3年間減税すると税収は減るが、住まいの建て替えなどで、子育て世代や事業者を呼べるようになる。



宗像市の郷土史教育について
笑顔、むなかた／齋藤 元孝



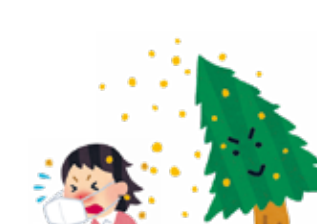
問 本市の歴史教育の現状は。

答 副読本を使った学習、世界遺産を核としたふるさと学習を実施し、郷土文化への愛着と理解の醸成に取り組んでいる。

問 ふるさと学習での大島渡航を増やしては。

答 大島渡航は世界遺産への理解を深めると認識しているため、学校と協議し検討する。

花粉症発生源対策について
杉などの発生源を伐採し、別の苗木に植え替える必要がある。



TOPICS!

宗像市議会では、ホームページやインターネット中継など、議会の情報をさまざまな形でお届けしています。皆さんが自宅からでも議会の動きを知るためのツールを、タイプ別に紹介します。

Q1

休日、どちらの過ごし方が好き？

- ▶外に出かけて楽しみたい！→ **Q2** へ
- ▶家でゆっくり過ごしたい！→ **Q3** へ

Q3

家でゆっくりする時、情報の集め方は？

- ▶動画を見て知るのが好き！→ 診断結果 **B** へ
- ▶文章でじっくり読むのが好き！→ **Q4** へ

Q2

気になるイベントがあったら？

- ▶実際に行って体験したい！→ 診断結果 **A** へ
- ▶気になるけど、映像で見られたらそれで満足かも→ 診断結果 **B** へ

Q4

詳しいレポートを読むのが好き？ それとも簡潔に知りたい？

- ▶しっかり詳しく知りたい！→ 診断結果 **C** へ
- ▶ざっくり要点だけで十分！→ 診断結果 **D** へ

診断結果は裏面へ！



あなたはどのタイプ？ 宗像市議会 みてみて 診断テスト

コミュニティ会長会と 意見交換会を行いました

2月4日にコミュニティ運営協議会会長会と議員で「誰もが関わりやすいコミュニティの在り方について」「地域のにぎわいづくりについて」を議題に意見交換会を行い、相互理解を深めました。



12人のコミュニティ会長と20人の議員が2つのグループに分かれ、話し合いました。

議場で直接チェック!

A

直接議会でのやりとりを見てみたい、議会の雰囲気を感じてみたい!

議場内の傍聴席から議員と市長たちとの熱い論戦を直接見ることができます。市役所3階の議会事務局で傍聴章と資料を受け取ったら、いざ傍聴席へ!

まずは議会事務局で受け付けよう。



ここが傍聴席から見た議場だよ。

配信映像で離れた場所からでもチェック!

B

議場に行く暇はないけれど、議会の様子を見てみたい!

議会中の映像をインターネットで生中継しています。また、中継した映像は後日見返すこともできます!



スマホはこちらから。



市HPからアクセスしてみよう。

クリック!



議会映像

クリック!

あなたも市民のための会議を

推しメンが見つかるかも

覗いてみませんか

資料で細かくチェック!

C

議会でのやりとりを資料でじっくり確認したい!

本会議中の議員や市長などの発言を文章にした会議録や、委員会での議論をまとめた委員会報告書などをインターネットから見ることができます。市HP「宗像市議会」から見たい資料をピックアップ!



会議録はキーワードで検索もできるよ。

市議会だよりでサクッとチェック!

D

資料よりも、もっと簡単に議会での出来事を知りたい!

議会で話題になった案件や、市議会議員から市に投げかけた質問などを、簡単に分かりやすくまとめた、市議会だよりを発行しています。市広報紙「むなかたタウンプレス」の中や、スマホやインターネットで広報紙を見られるアプリ「マチイロ」から「むなかた市議会だより」を読んでみよう!





「マチイロ」アプリをダウンロードしよう。

編集後記

初当選から早いもので6カ月の月日がたち、最近は街でも「齋藤さんですか?」と話しかけられる機会も増えてきました。それだけ市議会議員は注目されていると同時に重要な役職だと強く感じています。その重要な仕事を今日は紙面で、時にはSNSや街頭で全世代の市民に広く伝えていくよう努めてまいります。(齋藤元孝)

※1 予算第1…一般会計
※2 予算第2…特別会計・企業会計
▼一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。
▼請願の提出締切日は5月30日(金)です。
▼本会議と委員会は、ホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。
※日程・内容などが変更になる場合があります。傍聴などの際は、事前にホームページで確認をお願いします。

6月 定例会の日程

日	期	内容
25	水	本会議(委員会報告、質疑、討論、採決)
19	木	予算第2特別委員会※1
18	水	予算第1特別委員会※1
17	火	建設産業常任委員会
16	月	社会常任委員会
13	金	総務常任委員会
12	木	本会議予備日
11	水	本会議(一般質問、大綱質疑)
10	火	本会議(一般質問)
9	月	本会議(一般質問)
6/6	金	本会議(議案上程、提案理由の説明)

市議会のくわしい情報や議会中継はホームページをご覧ください。
お問い合わせは 議会事務局へ TEL 0940(36)1119

宗像市議会

検索

ホームページ二次元コード→



発行/宗像市議会 ●編集/議会広報編集部会
〒811-3492福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591